

# MATSUDOING2050

～わたしがつくる！まつどのみらい～

## 第6回ワークショップ(インターネットを活用した意見募集)

### 参加者への投げかけ

MATSUDOING2050アドバイザー  
藤村龍至(東京藝術大学准教授)  
2020.3.19

第6回はこれまでの総集編として位置付けしており、皆さんとの対話の上でまとめを作成できればと考えておりましたが、以下のような問いかけに対し、お答え頂くかたちとさせて頂ければと存じます。

これまで第4回で「公共機能の配置イメージ」、第5回で「民間事業のイメージ」について議論してきましたが、第6回はもう一度まちづくりを考える「わたしがつくる！まつどの公共空間」とはをテーマとしたいと思います。

#### (1)岡本真氏と藤村龍至氏の対話動画のポイント

今回は図書館を中心に各種の文化施設など公共施設について詳しく、自治体等で専門家としてアドバイザーをされている岡本真氏から福島県須賀川市の事例をもとにお話を頂きました。

- ・須賀川市は東日本大震災の復興として庁舎と市民交流施設など公共施設の全体を一体で作り直すという稀有な経験をした
- ・中心市街地のまちづくりを公共施設や公共空間のあり方を考えることでリニューアルしていこうという大きな目標そのものは、「MATSUDOING2050」で考えようとしてることと重なる部分も多い
- ・庁舎、市民交流施設と箱(=施設)単位で考えてしまうのではなく、市民の皆さんが「何をしたいのか」**wish**から入って機能の再編を考えていく必要がある

#### (2)参加者の皆さんにお答え頂きたいこと

動画を踏まえ、下記のご質問に「Sli.do」を用いてお答えください

(別紙「意見投稿方法について(意見募集①)」を参照。3/6付でお送りした資料をご覧ください。また、Q1,Q2に対する回答(A1,A2)は一緒に欄に連続してご記入ください。)

**Q1. あなたが松戸で叶えたい「wish(=何をしたいのか)」とは？**

**Q2. あなたが松戸で叶えたい「wish(=何をしたいのか)」を叶える公共空間とは？**

・公共空間については2人の対話の中で中心的に語られた図書館に限らず、その他の文化施設、市民活動支援施設、オープンスペース等を各自設定してください

#### 例えば・・・

例1)

A1 私のwishは松戸の地域でクラフトの趣味を持っている人と繋がることです。

A2 例えば中央公園に芝生の広場や木陰があればもっというろいろなマーケットができ、地元で起業しているクリエイターや飲食事業者さん、野菜の生産者さんと知り合って地域経済の活性化や魅力発信につながると思います。

例2)

A1 私のwishはまちなかで地域の課題解決のための仕事をする事です。

A2 普段カフェでテレワークをしながら仕事をしていますが、図書館の周りにカフェやレンタル会議室などがあれば調べ物をしながら打ち合わせもでき、仕事の場として大いに利用できると思います。

例3)

A1 私のwishは江戸川沿いでジョギングをして仲間と交流もすることです。

A2 西口の空き家やビルをランニングステーションに改装してカフェやバーなどもありジョギングの後に仲間と交流もできるような場所が欲しいです。

例4)

A1 私のwishは東京を抜いて、松戸が「共働き子育てしやすい街 全国No1」になることです。

A2 テレワークできる駅前のカフェの近くに子どもの一時預かりがあったり、キッズスペースで子どもを遊ばせながら隣で子育て相談にのってもらえる場所があれば、若い夫婦が集まるのでは。